



サレジオ会宣教ニュース

サレジオ会宣教部門による
サレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信

感謝を



友人の皆さん、

仕事は恵み

あるとき、事業所で働いている人と話す機会がありました。私はその人に尋ねました。「いつも喜んで仕事をされていますね。本当に満足していますか？」彼は答えました。「神父様、校内を清潔に保つことは生活の糧を得て家族を養う道にはちがいません。でもそれを超えて、ここで働くことで私はいろいろな恵みを頂いています。だから、どうして仕事を楽しまずにいられますか？ 皆も私も、この学校にとって本当の祝福にならなければと、責任を感じます。」感銘を受けました。

仕事は、そのあらゆる意義をもって、恵みだと思います。私たちを人間として成長させ、自己実現をさせてくれます。神の創造のわざにあずからせ、それを再現し、尊厳を「与え」ます。実に、それは神の祝福です。どこにいても、宣教地にいるときも、仕事をこのように捉えるなら私たちは喜んで仕事に取り組むようになり、仕事によってより人間らしく、またより神聖な者になるでしょう。

Joebeth

● 青少年司牧部門メンバー
ホセ・ロルベス・ビボ神父, SDB

尊厳を与え、社会を築き上げる仕事



「ドン・ボスコは、愛をもって果たされる仕事は人間を造り上げると考え、したがって、仕事を、自身への、社会への、神への義務、責任と見なしていた。」(ペレッソン, 2010年)

この言葉は、職業教育の前線にいる人々の心と手を動かします。人間の尊厳が受け入れられ、正義のある社会がしっかりと根づくために、**創意豊かで建設的な姿勢**で世界を変容させる機会を教育者たちは、その働きのうちに見いだします。

したがって、行われる仕事と仕事への公正な報酬について考える際、関わる人々の役割を、正確に定める必要があります；国連のデータ(2020年)によると、21世紀の20年目の終わりに、**約5億人が、労働への適正な経済的評価を受けていません**。そして、5人に1人の労働者が、最低限に必要な生活条件で自分と家族を養うのに十分な報酬を受けておらず、ILO(国際労働機関, 2024年)は、現代の奴隷制度をさらに示すものだとしています。

このデータとその意味することを考えながら、仕事を探す際にこれらの困難を経験する人々を支援することに取り組むという挑戦を、私たちは前にします。その人々が、置かれることになる状況のなかで、持っている技能、興味、可能性に基づく具体的な、資格を備えた職能をもって労働市場に入れるよう、私たちは必要な手段を提供します。それは、UNHCR(難民高等弁務官事務所, 2024年)が、この社会 - 職業の不均衡に対抗するため**「教育」こそが最も効果的な武器である**という事実に触れ、語ったとおりです。

尊厳のある仕事とその仕事に就くための教育を支援したドン・ボスコのカリスマは、この挑戦に応える私たちを導いてくれます。そして「ドン・ボスコの使命に忠実であることは、時のしるしに忠実であることを意味する」こと、また私たちが、心をかける父、教育する教師、教える職人、力を与えるリーダーの召命をもって行動しなければならないことを示してくれます。私たちは、学校とビジネスの関係を形成しなければなりません。求められる仕事の内容を特定し、需要に応えるため、**関連する職業訓練を提供する**のです。仕事の価値が市場で、また人々のもとに届く最終的な生産品に表れるその質が、評価されるために。

● エルナンド・メンディヴェルソ・アポンテ
コロンビア-ボゴタ(COB)職業訓練教育 管区コーディネーター

振り返りと 分かち合いのために

- 地域の人々のために、仕事をより尊厳のあるものにするため、私や私の共同体は何ができるだろうか？



学びの場から職業への移行： DBIの優先課題の一つ

サラさん、今月のテーマは職業の世界です。ドン・ボスコは貧しい子どもたちが良い労働条件のまっとうな仕事に就くことができるよう、職業訓練を施しました。サレジオ会が今もこのことを行っていると思いますか？

DBI (Don Bosco International. EUの諸機関に向けてサレジオ会を代表するNGO、ブリュッセルに本部を置く - Salesian Bulletin Onlineより) では、このことについて考えるだけでなく、ヨーロッパ諸機関 (EU) で私たちが促進する中心的なメッセージの一つになっています：サレジオ会は今も弱い立場にある若者に職業訓練を提供し、若者の尊厳と権利が保証される、職業の世界への「公正な」参入を促進しています。それはたとえば、人間を中心とし尊重することを支持する企業とのパートナーシップに表れ、サレジオの使命の価値を反映しています。さらに、多くの分野で度々ないがしろにされている能力評価をサレジオ会が大切にしていることを認識するのは重要なことです。献身、真面目さ、責任感が仕事の間でも実を結ぶという具体的なあかしは、尊厳を傷つけかねない妥協をすることがないよう、若者たちを助けます。対立と再武装が広まる世界で、これらは、内省すべきことであり、希望を生かし続ける道具を提供するために大切なことです。

職業という文脈で、サレジオの職業訓練センターTVET (Technical and Vocational Education and Training) はしばしば私たちの話題に上ります。残念ながらその数は減ってきています。職業訓練センターについて「再考」するとすれば、どのような選択肢を提案しますか？

ヨーロッパの状況について振り返ってみましょう：広範囲に影響を与えるような職業人の存在に欠けていること、職業の世界における急速な変化に応える技能が緊急に必要であること、企業、政府、EUによる、ヨーロッパ連合内外の職業訓練への新たな投資が見られます。当然、この問いが浮かんできます：私たちのTVETの持続性と発展を保証することは、なぜこれほど難しいのでしょうか？ 現実には、はるかに複雑で多様だということを私たちは知っています。しかし、十分に活かされていない潜在的可能性があります：優れた成果、実践の成功例、私たちのネットワークの世界的な広がり、方針や投資のあり方が形づくられる、決定の行われる場まで届かないことがよくあるのです。そのため、必要なデータを挙げて、集め、明確な、連携調整された、外に向かって開かれたコミュニケーションを通して、促進することが不可欠です。TVETは、経験、正しい方法論、現在のさまざまな挑戦への効果的で革新的な解決策を提供する道具を持っていながら、公的あるいは私的な、地元のあるいは国際的な資金の提供者との対話になくはならない明瞭さとまとまりに欠けているのです。TVETが今日の世界における希望の試金石であること、公共政策、ビジネス、人権を結ぶ懸け橋であることを明確に示すため、共に働く必要があります。

DBIの主な目標の一つは、学びの場から職業への移行です。そのために、DBIはどのように動いていますか？

学びの場から職業への移行はDBIの3つの優先的取り組みの一つです。主な目標は、政治的な影響を生み出すこと、この問題への世論の関心を保たせること、サレジオの実践の成功例を広めること、ヨーロッパのさまざまなプラットフォームに参加することです。私たちはネットワーク作りを通して、若者、学校、職業訓練センター、民間社会の間の協力を促進し、教育の実りと労働市場の需要を結びながら、新たなつながりを築き上げます。その意味で、近年、DB TechヨーロッパやDB Techアフリカと実り多い協力をしてきましたが、データを集め、さまざまな機関と戦略的にコミュニケーションを取り、サレジオの組織をより目に見えるものにすることが、まだまだ必要です。



サラ・セキ

私はサルデーニャ (イタリア) 出身で、法学の学位取得後、**国際行政学** (ローマ、LUISS) の修士号を取得しました。私はエラスムス+世代 (勉強や仕事において可動性のあるプログラムに参加する若い世代) で、そのおかげで、ポーランドで1年間学び (リュブリン、KUL)、**ベルギー (DBYN)** で2回、インターンシップを行いました。フランス語を学ぶため、マルセイユでヨーロッパ・ボランティア活動 (ESC) を経験しました。私が情熱を注ぐのは、法律、旅行、教育です。2022年9月からブリュッセルで**DBIの事務局長**として働いています。

+教皇フランシスコ+ 1936-2025

ラテンアメリカ出身者として、イエズス会士として
初の教皇

帰天の時、過去2番目に高齢の教皇

いつくしみの特別聖年 (2016)

4つの使徒的回勅、7つの使徒的勅告、
60の自発教令

500回の一般謁見、163人の枢機卿任命のため
10回の枢機卿会議を開催

900人以上を列聖 (3人の前任者、ヨハネ二十三世、
ヨハネ・パウロ二世、パウロ六世を含む)

教皇職の主なテーマ：

- ・ローマ教皇庁の再編成
- ・宣教の精神と連帯
- ・貧しい人々、移民
- ・より重要な役割への女性の登用
- ・教会をすべての人に開かれたものに
- ・平和のための取り組み



5月 サレジオ 宣教の 祈りの意向

再考 > 職業

サレジオ会の意向

宣教の精神をもって職業の世界に入り、困難な状況で働く人々の尊厳が
増進されるよう働きかける勇気を願います。

教皇フランシスコの祈りの意向 > 労働条件のために

